

マスコミ各位

平成29年11月27日（月）
保健医療部 地域保健課 結核感染症班
担当：山内、仁平（866-2215）

「平成29年度世界エイズデー」の実施について UPDATE！ エイズのイメージを変えよう（キャンペーンテーマ）

「世界エイズデー（12月1日）」は、エイズまん延防止と患者・感染者に対する差別・偏見の解消を図ることを目的に、1988年にWHO（世界保健機関）が提唱、1996年からUNAIDS（国連合同エイズ計画）もこの活動を継承しています。国内においてもこの趣旨に賛同し、12月1日を中心に、全国的な啓発活動が実施されます。

県内では、12月1日を中心に、各種啓発活動の他、各保健所でHIV即日検査・夜間検査等を拡充して実施します。 検査は、無料・匿名で実施し予約制です。受付時間など詳しくは、各保健所へお問合せください（p.7-下参照）。

1 2016年新規 HIV 感染者・エイズ患者報告数が上位10位の自治体（p.2-下参照）

厚生労働省エイズ動向委員会によると、2016年の沖縄県の人口10万あたりの報告数は、HIV感染者は全国3位、エイズ患者は全国10位となっています。

2 2017年の県内 HIV 感染者・エイズ患者発生動向

① HIV 感染者・エイズ患者の新規報告数

11月26日時点の新規報告者数はHIV感染者21例（72.4%）、エイズ患者8例（27.6%）、合計29例となっています（p.3-上参照）。診断時に既にエイズを発症している患者の割合は全国平均（約30%）に比べ低くなっています。

② 男女別

新規報告者数29例は、全て男性となっています。これまでの累積報告数では、368例のうち男性347例（94.3%）、女性21例（5.7%）となっています（p.3-下参照）。

③ 年代別

新規報告者数29例のうち、20代が13例（44.8%）と最も多く、次いで40代が8例（27.6%）、30代及び50代以上が4例（13.8%）ずつの順となっています（p.4-上参照）。

④ 感染経路別

新規報告者数29例のうち、男性同性間の性的接触が19例（65.5%）と最も多く、異性間の性的接触が4例（13.8%）、不明が6例（20.7%）となっています（p.4-下参照）。

⑤ 保健所実施 HIV 抗体検査件数

2017年（平成29年）10月末時点の各保健所で実施しているHIV抗体検査件数は、1841人と、昨年同時期の1808人とほぼ同数となっています（p.6-上参照）。

3 2017年の県内梅毒患者発生動向

11月26日時点の報告数は33例で、そのうち男性が26例（78.8%）、女性が7例（21.2%）となっています。女性は既に1999年以降、最多の報告数となっています（p.6-下参照）。

4 感染予防（感染拡大防止）

- H I Vの感染は、性行為以外の日常的な接触では感染せず、性行為の際も、コンドームを正しく使用することで予防が可能です。
- 梅毒の感染も性行為によるものがほとんどであり、感染予防にはコンドームの使用が重要ですが、梅毒は感染力が強いので充分とは言えません。治療が可能ですので、検査により早期発見することが重要です。但し、梅毒は再感染するため、治療後も引き続き対策が必要です。
- 感染の不安のある方は、保健所の無料匿名検査を受けてください。

5 エイズデーに係るH I V検査の拡充について

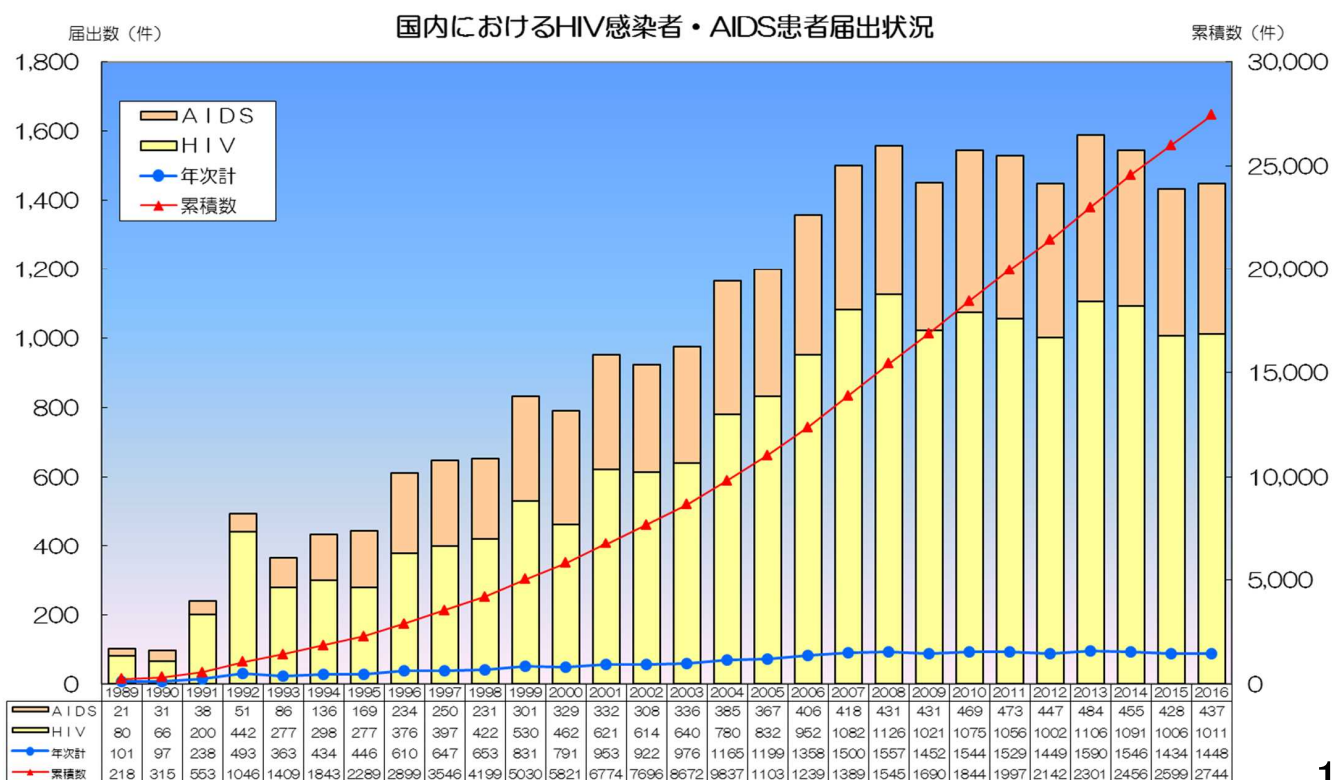
通常実施している検査に加え、世界エイズデー以降に即日検査や夜間検査等の拡充を実施します（p.7 上下参照）。梅毒等の同時受検も可能となっています。

エイズ(AIDS)について

- エイズは、「後天性免疫不全症候群」ともいい、HIV(エイズの原因ウイルス)に感染することによっておこる病気です。
- HIVに感染してから2~3週間すると、軽い風邪のような症状がでます。こういう症状が数日~10週間くらい続き、ほとんどの場合は自然に消えてしまいます。
- その後、数年~10年間くらいは何も症状はありませんが、体の中でHIVがひそかに広がっています。
- 何も治療をしないですとさらに進行し、微熱や下痢が続いたり、リンパ節が腫れたり、肺炎などを起こします。このような状態になると「エイズを発症した」「エイズになった」といいます。
- 感染経路は、①性行為、②血液を介しての感染(注射器具の共用など)③母子感染の3つです。
- 検査と治療
 - ・検査: 保健所等で無料、匿名で受検できます。
 - ・治療: 治療薬の進歩により、現在エイズはコントロールできる病気になりました。検査の結果、たとえHIVに感染していても、早期に発見し適切な治療を始めれば、エイズの発症を回避することができます。
- 予防
 - HIV感染の80%以上は性行為によるもので、コンドームを正しく使用することで予防できます。

国内におけるHIV感染者・エイズ患者届出状況

- 2016年届出数は、HIV 1,011件、AIDS 437件(累計27,443件)



沖縄県の状況

(2017年11月26日時点)

1. 2016年 新規 HIV感染者／AIDS患者報告数 (上位10位の自治体)

a. HIV感染者上位自治体

	自治体	報告数		自治体	人口10万人対
1	東京都	370	1	東京都	2.716
2	大阪府	140	2	大阪府	1.585
3	愛知県	70	3	沖縄県	1.181
4	神奈川県	57	4	岐阜県	0.989
5	福岡県	46	5	愛知県	0.932
6	千葉県	31	6	福岡県	0.901
7	埼玉県	25	7	山梨県	0.843
8	北海道	23	8	徳島県	0.800
9	岐阜県	20	9	熊本県	0.789
9	兵庫県	20	10	高知県	0.693

b. AIDS患者上位自治体

	自治体	報告数		自治体	人口10万人対
1	東京都	97	1	福岡県	0.901
2	大阪府	48	2	佐賀県	0.725
3	福岡県	46	3	東京都	0.712
4	愛知県	32	4	高知県	0.555
5	神奈川県	26	5	大阪府	0.543
6	北海道	19	6	群馬県	0.458
6	千葉県	19	7	愛知県	0.426
8	埼玉県	15	8	愛媛県	0.364
8	兵庫県	15	9	北海道	0.355
10	群馬県	9	10	沖縄県	0.347

2016年人口10万人対の報告数で沖縄県は、

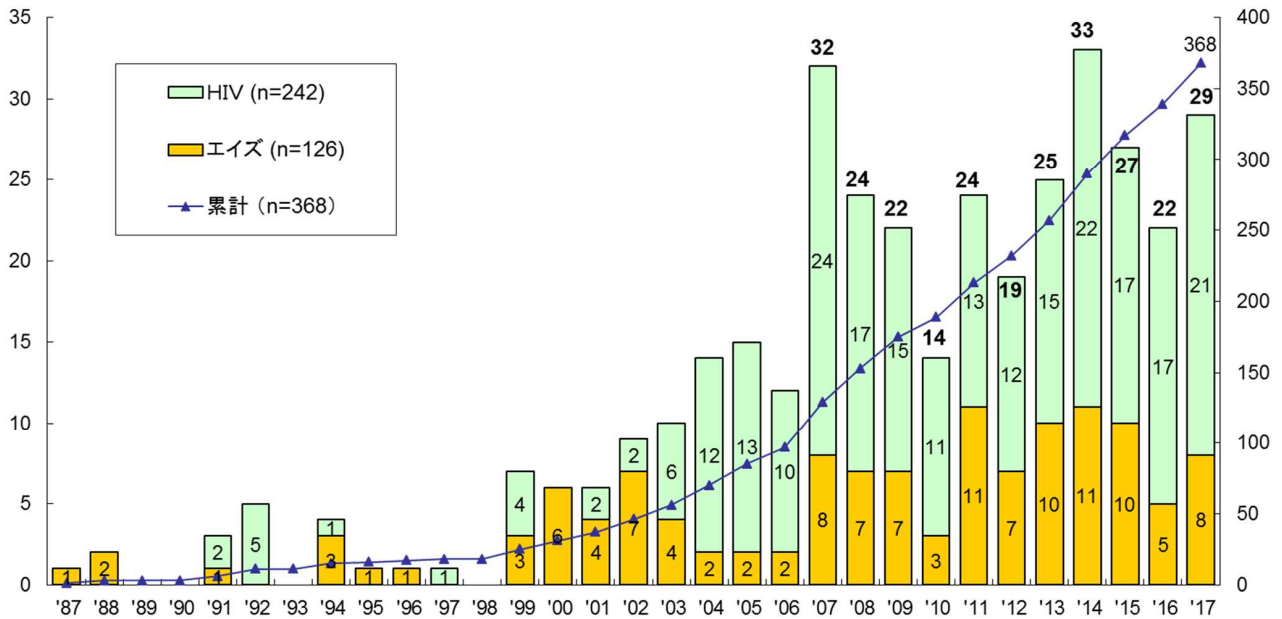
- HIV感染者
全国3位 (1.181人)
- AIDS患者
全国10位 (0.347人)

沖縄県は平成18年度より重点的に連絡調整すべき都道府県等に選定されている。

※報告日に基づく集計

2. HIV感染者／AIDS患者の届出状況

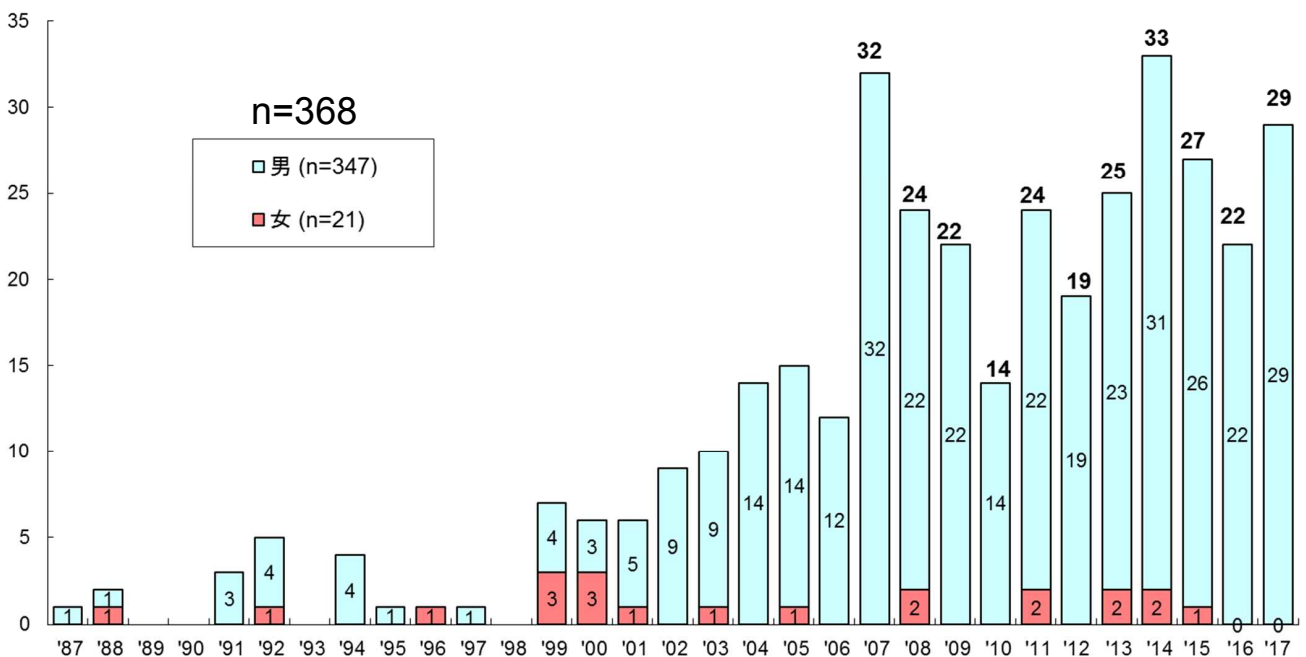
- 2017年11月26日現在 29件（HIV21件、エイズ 8件）で、過去3番目に多い報告数
- 累計は368件



※2017年は11月26日時点の数値

3. 男女別

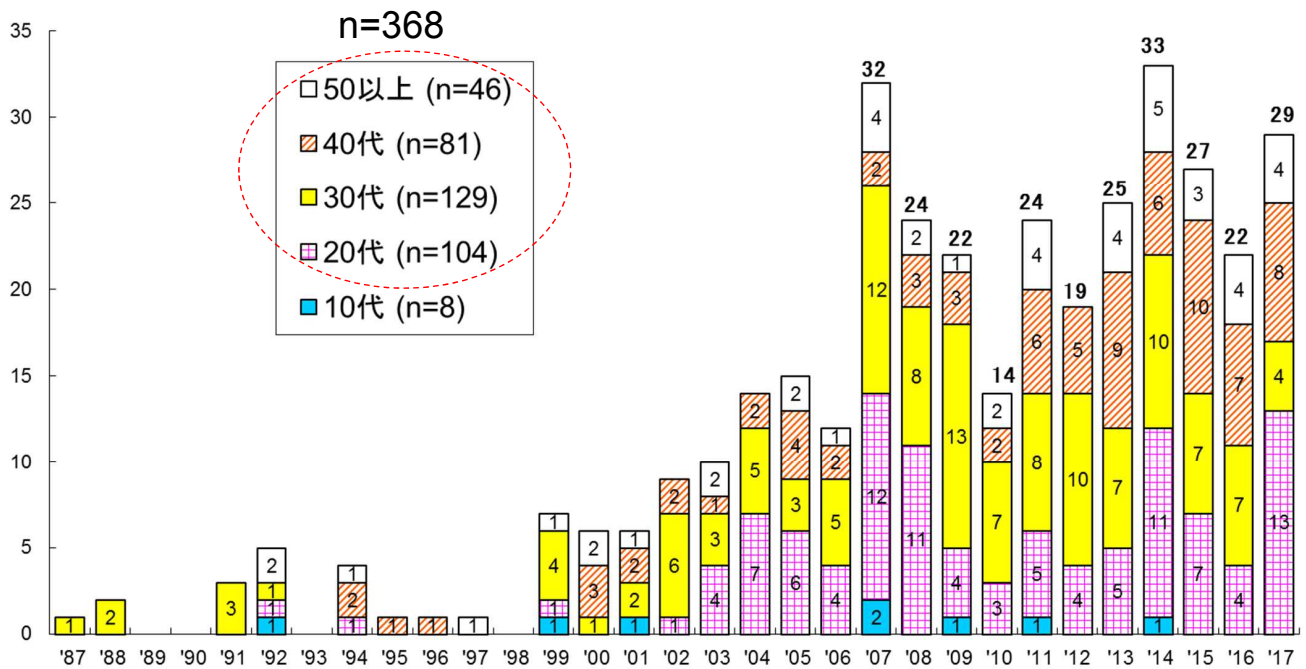
- 2017年（11月26日時点）は、男性29件
- 累計では男性が94.3%を占めている（男性347件、女性21件）



※2017年は11月26日時点の数値

4. 年代別

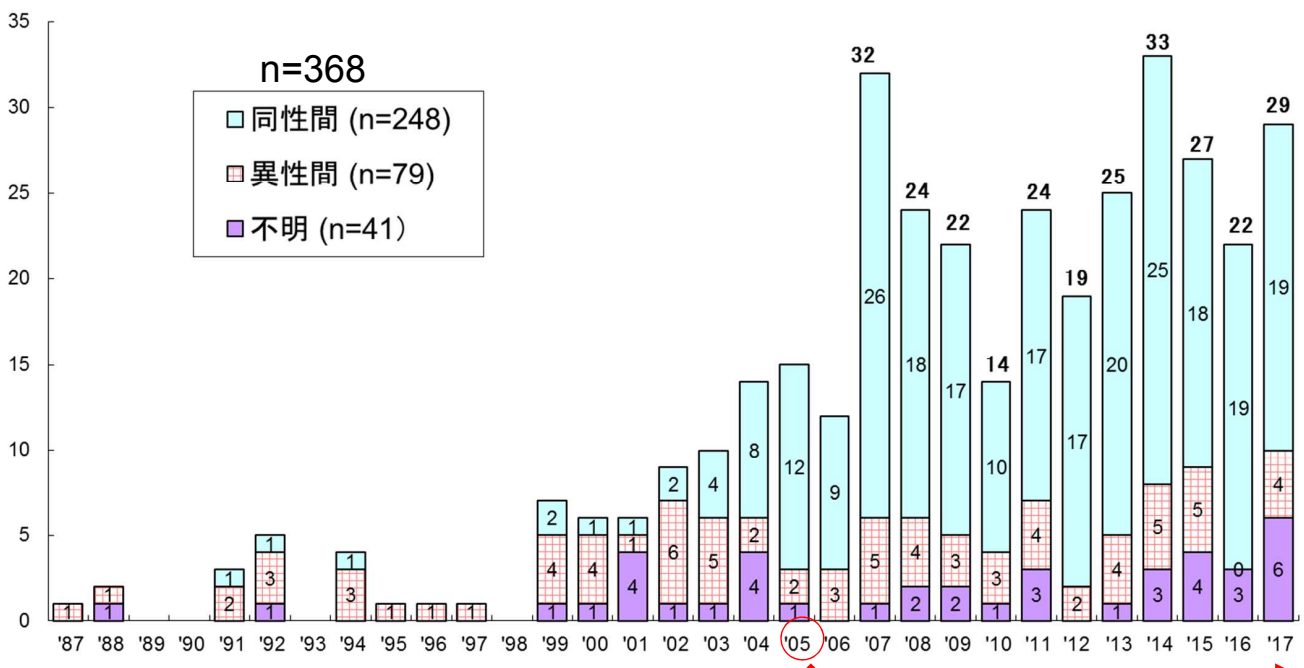
- 20～50代に幅広く分布している



※2017年は11月26日時点の数値

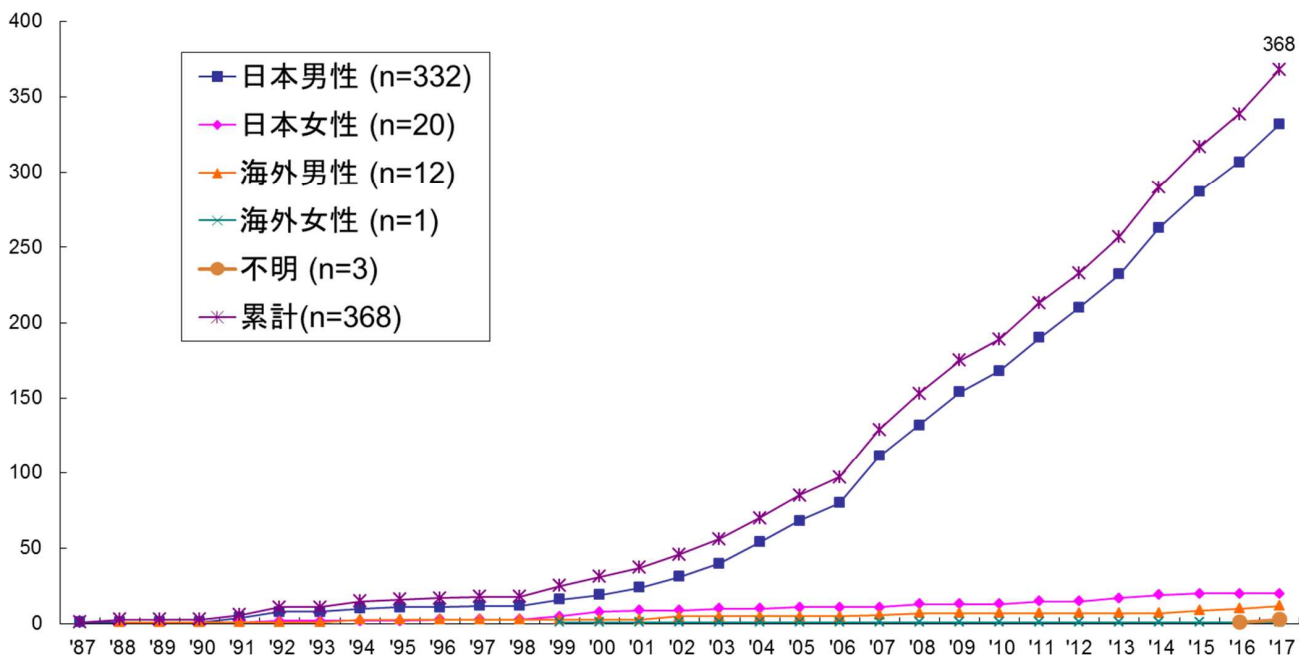
5. 感染経路別

- 2005年以降、男性同性間性的接触が約6～9割を占めている
- 異性間性的接触での感染も続いている



※2017年は11月26日時点の数値

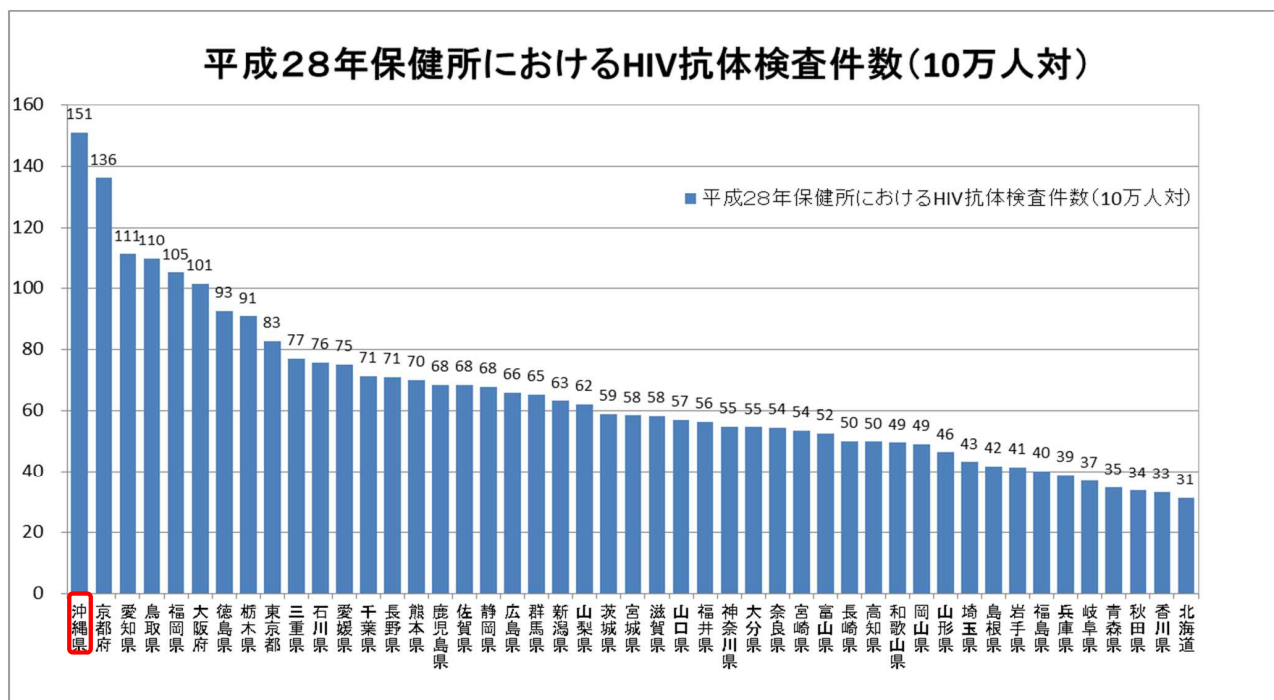
6. 国籍別



※2017年は11月26日時点の数値

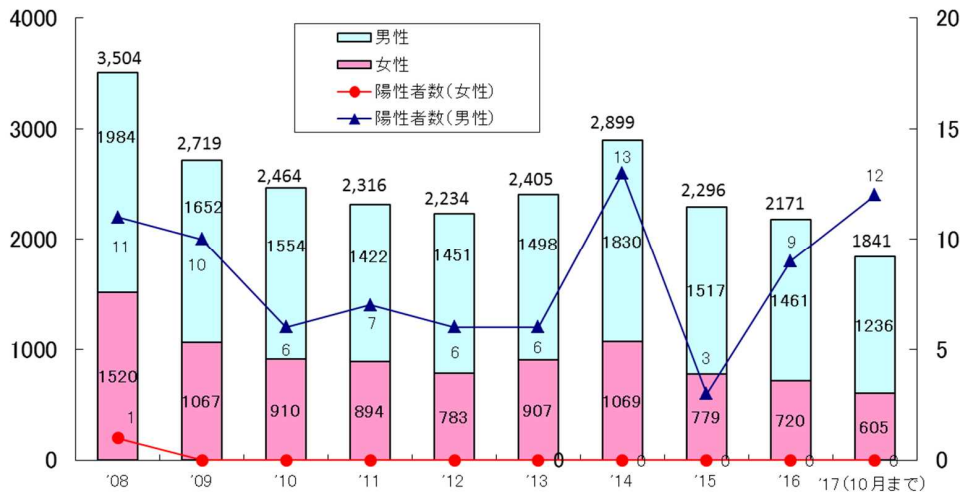
7. 人口10万人あたりの都道府県別 HIV抗体検査数(2016年)

- ・沖縄県は、人口10万人対では151件（全国1位）
- ・県民の検査に対する意識は全国に比べて高い



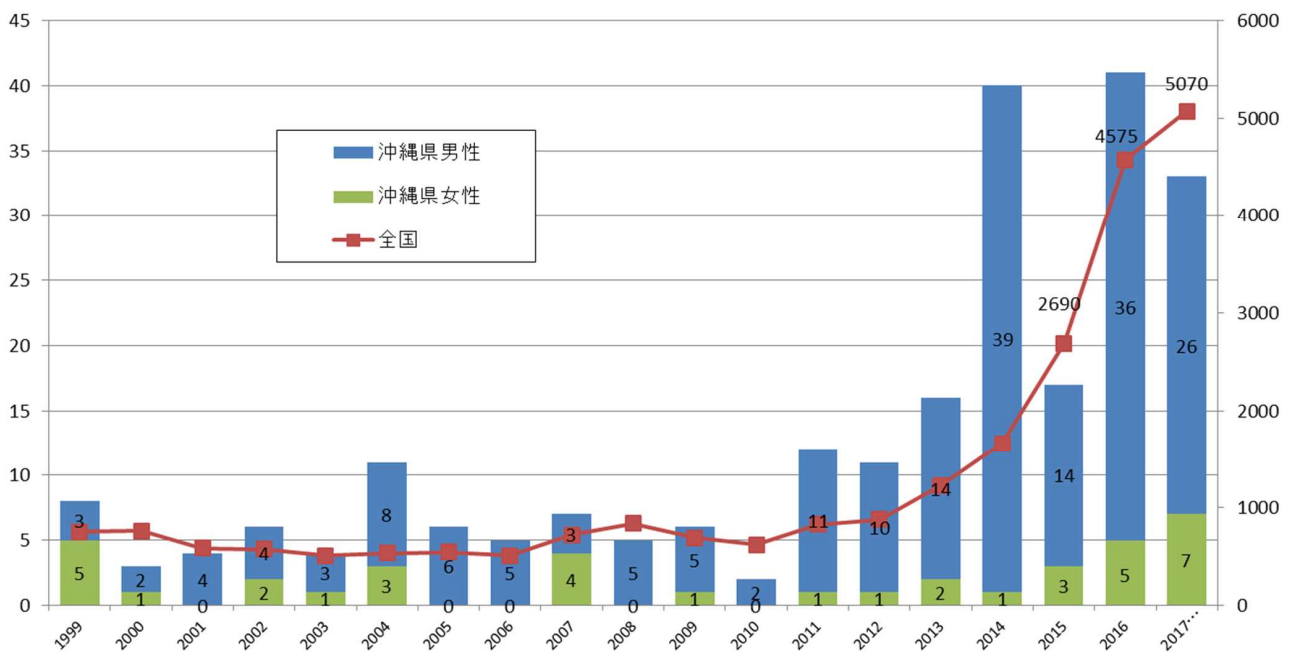
8. 保健所におけるHIV抗体検査件数

		2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年 (10月まで)
男性	検査数	1,984	1,652	1,554	1,422	1,451	1,498	1,830	1,517	1,461	1,236
	陽性者数(率)	11 (0.55%)	10 (0.60%)	6 (0.38%)	7 (0.49%)	6 (0.41%)	6 (0.40%)	13 (0.71%)	3 (0.19%)	9 (0.62%)	12 (0.97%)
女性	検査数	1,520	1,067	910	894	783	907	1,069	779	720	605
	陽性者数(率)	1 (0.06%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)
合計	検査数	3,504	2,719	2,464	2,316	2,234	2,405	2,899	2,296	2,181	1,841
	陽性者数(率)	12 (0.34%)	10 (0.36%)	6 (0.24%)	7 (0.30%)	6 (0.27%)	6 (0.25%)	13 (0.41%)	3 (0.13%)	9 (0.41%)	12 (0.65%)



※2017年は10月31日時点の数値

9. 梅毒患者の届出状況



※2017年は11月26日時点の数値

10. 保健所HIV抗体検査スケジュール(平時)

平成29年度HIV検査日程

検査・相談 機関名	問合先 電話番号	実施日	時間	即日・ 通常	夜間	予約
北部保健所	0980-52-5219	火、木	9:00～11:00、13:00～15:00 ※男性のクラミジア検査希望の場合 午前中の受付は10:30まで	即日		必要
中部保健所	098-938-9701	火	9:00～10:30、13:00～14:00	即日		必要
南部保健所	098-889-6591	火、木	9:00～10:30、13:00～15:00	即日		必要
宮古保健所	0980-73-5074	火、木	9:00～11:00、13:00～15:00	即日		必要
八重山保健所	0980-82-4891	月、水、金 火、木	9:00～11:00、13:00～16:00 9:00～11:00、13:00～16:00	通常 即日		必要
那覇市保健所	098-853-7971	月、水、金 第1水曜日	9:30～11:30 13:00～15:00 17:00～20:00	即日 即日	○	必要

即日検査・・・問診、採血を実施し、1～2時間後に結果をお知らせします。
通常検査・・・問診、採血を実施し、後日結果をお知らせします。

11. 保健所HIV抗体検査スケジュール(拡充)

平成29年度エイズデーHIV検査日程

検査・相談 機関名	問合先 電話番号	実施日	時間	即日・通常	夜間	予約	備考
北部保健所	0980-52-5219	12/4(月)～12/8(金)	9:00～11:00、13:00～15:00 17:30～19:30(12/7(木)のみ) ※男性のクラミジア検査希望の場合、午前の受付は 10:30まで	即日	○	必要	梅毒、クラミジア、B型肝炎、C型肝炎も同時受検可(夜間は肝炎実施なし)
中部保健所	098-938-9701	12/3(日) 12/5(火)	9:00～14:00(12/3(日)) 17:30～20:00(12/5(火))	即日	○	必要	梅毒の同時受検可
南部保健所	098-889-6591	12/1(金)	9:00～10:30、13:00～15:00	即日		必要	梅毒、クラミジアの同時受検可
宮古保健所	0980-73-5074	12/1(金)	9:00～11:00、13:00～15:00	即日		必要	梅毒、クラミジア、B型肝炎、C型肝炎も同時受検可
八重山保健所	0980-82-4891	12/1(金)～12/7(木) *12/2(土)、12/3(日)も実施 土日は予約者のみ。予約は12/1(金)まで	9:00～11:00、13:00～15:30	即日		必要	梅毒、クラミジアの同時受検可
那覇市保健所	098-853-7971	12/4(月)～12/10(日) ※12/9(土)なし	9:30～11:30、13:00～15:00 17:00～20:00(12/6(水)のみ)	即日	○	必要	梅毒、クラミジア同時受検可。12/6(水)夜間検査は梅毒のみ同時受検可。

即日検査・・・問診、採血を実施し、1～2時間後に結果をお知らせします。